



2025年10月1日

株式会社アドバンスト・メディア

## 建築工程管理プラットフォームサービス

# 「AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム」に マンションの内覧会業務を効率化する新機能を搭載

～スマホで完結！内覧会シートのダウンロードやリペア後の写真確認が遠隔でも可能に～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）が提供する、建築工程管理プラットフォームサービス「AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム」に、内覧会業務を効率化し、顧客満足度の向上を実現する新機能を2025年10月1日（水）より提供開始します。



## 「AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム」の内覧会向け新機能

昨年12月に正式リリースした「AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム」の内覧会向け拡張機能では、iPad上で購入者からの指摘事項や該当箇所の写真を紐づけてデータ管理を行い、施工会社とリアルタイムに共有できる仕組みを開発しました。さらに、電子署名機能を搭載し、従来の紙を用いた内覧会からiPadを用いた運用に移行することで、人的ミスの抑制や情報共有の迅速化による補修作業の効率化を実現しました。

一方で、従来の機能には、いくつかの課題も残されていました。内覧会后に物件の不具合や修繕箇所を記録した内覧会シートを、購入者にプリントアウトして手渡しするか、個別にメールで送付する必要があり、多くの時間と手間を要していました。また、内覧会后に、指摘箇所が適切に修繕されているか

確認するため、購入者に再来訪してもらう必要があり、購入者・事業者の双方に負担が生じていました。

そのような課題の解決に向け、内覧会における確認業務を効率化し、顧客満足度の向上を実現する新機能の提供を開始します。

新機能では、購入者が自身のスマートフォンで2次元コードを読みとるだけで、内覧会での指摘事項や、リペア前とリペア後の写真を簡単に確認することができます。確認が完了すると、スマートフォンから署名を行い、控えとして内覧会シートをスマートフォンに保存することが可能です。内覧会における確認対応を購入者のスマートフォン上で完結ことができ、内覧会シートのプリントアウトやメールでの送付といった従来の作業が不要となり、業務効率化と顧客満足度向上を同時に実現します。

スマートフォンの専用メニュー画面からは、「内覧会シートダウンロード」と、「写真確認」の項目が利用可能です。まず「写真確認」をタップすると、契約住戸の図面が表示され、図面上の該当箇所に紐づいた指摘事項と、内覧会で撮影された指摘箇所の写真を確認することができます。すべての指摘事項をチェック済みにすると、電子署名が可能となります。署名データは購入者のスマートフォンに直接保存されるため、従来の紙による控への配布が不要となり、ペーパーレス化を促進します。署名完了後に画面下部の「確認終了」ボタンをタップすると、メニュー画面に戻り「内覧会シートダウンロード」を行うことができます。

また、リペア前/リペア後の写真もスマートフォン上で確認することができます。さまざまな事情で確認会への参加が難しい場合でも、購入者は遠隔から是正状況をスマートフォンで確認できるため、再来訪の負担軽減につなげることが可能です。

さらに、2次元コードの発行は、「AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム」の管理画面上から行え、管理画面から購入者のステータスを確認することができます。ステータスは、「未対応」「確認会」「署名待ち」「写真確認完了」など、購入者の確認状況や署名の有無に応じて自動で更新されます。

なお、昨年リリースした内覧会向けの拡張機能は、野村不動産のマンションの内覧会向けに、「AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム」のラインナップの一つ「仕上げ検査」をカスタマイズして開発しました。2023年1月より、野村不動産の新築分譲マンションシリーズ「プラウド」の内覧会でご利用いただいております。今回の新機能についても採用が予定されています。

アドバンスト・メディアでは、今後も「AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム」の機能拡張を通じて、人手不足が深刻化する建設・不動産業界の業務効率化と顧客満足度の向上に貢献してまいります。

### 【内覧会向け新機能の特長】

#### 1. 2次元コードを活用した内覧会シートのダウンロードにより紙の出力が不要に

2次元コードを購入者のスマートフォンから読み取るだけで、物件の不具合や修繕箇所を記録した内覧会シートをダウンロードできます。購入者に内覧会シートをプリントアウトして手渡しする作業や、購入者ごとに対応していたメールの送付などが不要となり、業務効率化と顧客満足度の向上が期待されます。



ボタンをタップし  
「内覧会シート」をダウンロード

## 2. 修繕後の写真共有が可能なため、遠隔からの確認を実現

リペア前とリペア後の写真をスマートフォンから確認することが可能です。また、確認会への参加が難しい場合でも、遠隔から修繕状況を購入者自身で確認することができ、再来訪の負担を軽減します。



ボタンのタップで  
切り替えて表示が可能

### 【AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォームについて】

国内シェア No.1<sup>※</sup>の AI 音声認識 AmiVoice を搭載し、検査業務の効率化を実現する「AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム」は、iOS 端末用建築検査アプリのプラットフォームサービスです。高精度な AI 音声認識を活用し現場でのデータ入力を飛躍的に高速化し、建築現場で圧倒的な業

務効率向上を実現しています。現在、配筋検査・配筋写真管理・建築仕上げ検査の3種類のラインアップをご提供しています。

<https://www.advanced-media.co.jp/products/service/amivoice-super-inspection-platform/>

※出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2025」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

以上

### 【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L： <https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立： 1997年12月

資 本 金： 69億3031万円 (18,392,724株) (2025年6月末現在)

事 業 内 容： ◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」  
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」  
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997年に設立。Interactive Systems, Inc. (米国) と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場 (現：グロース市場) に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI (Human Communication Integration) の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1 (出典：ecarlate「音声認識市場動向 2025」) の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

### 【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・ E-mail : <a href="mailto:press@advanced-media.co.jp">press@advanced-media.co.jp</a> ・ TEL : 03-5958-1307	BDC 本部 ・ E-mail : <a href="mailto:bdc-info@advanced-media.co.jp">bdc-info@advanced-media.co.jp</a>